



主題：「響き合い、ともに歩む」 “Walk Together, Echoing Each Other”



福沢諭吉生誕の地記念碑

— ころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —
— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

今期は、ファンド事業を交流事業に合体させるとともに、広報事業を継続性のある委員会制度とした「5事業1委員会制度」に基づき事業活動を進めてゆくスタートの年でありました。交流事業とファンド事業を合体した国際・交流事業については、これまでの2つの事業活動を生かしながら活動を展開してゆけることが確認できました。ただ、「国際」なる名称をもつことで、国際にからむ諸事項への対応については今後、組織的対応を含めて考慮してゆくことが必要かと感じています。理事通信3月号でお知らせしました国際新事業「STEP For All」はTOF事業の支援・理解を意図しての事業であることから、今後はTOF事業を管轄する地域奉仕・環境事業部門が担当することになりました。

会員増強に向けて立ち上げられた西日本区2000推進チームは、実質8年間に及ぶ働きを各都府県の会員増強組織に委ねるため、今期をもってその活動を閉じます。これまでお働き下さったチームのみなさまのお働きに感謝します。

理事GOALを目標とする献金は、東日本大震災被災支援に向けての献金の額が少し低いほかはほぼ例年並みでありました。現在、YMCA東山荘100年募金とネパール大地震被災支援募金にかかわるYMCAからの呼び掛けにお応え下さるよう、西日本区のみなさまにお願いしています。

今期の事業活動におけるトピックスとして、①各クラブから提出して頂いたYサ事業報告からクラブのみなさまがYMCAサポートを大いに楽しんでいることが確認できたこと、②各クラブで実践する地域奉仕活動を他クラブも応援し共有するために部単位で各クラブの活動状況を報告する場を設けてクラブ相互の情報共有を図るようにしたこと、③今期から始まる部ごとの会員増強推進チームの動きについてみれば、初年度ということもあってか、活動されている部と思うような活動ができていない部とがあること、④台湾区と東日本区にそれぞれ所属するクラブ同士のIBC締結ではあるが、この締結実現のために西日本区に所属するクラブの働きが大きく貢献したこと、⑤メネット事業について多くのメンにもご理解頂きメネットとともにお支え頂いたこの1年ではありましたが、活動下さるメネットの数の減少と高齢化などの実態を考えると、メネット事業のあり方について考えるべき時期がきているのではないかとと思われること、などが挙げられます。

日本ワイズメンズ運動発祥の地、「大阪」で、いま、ワイズメン・メネットが交わり、響き合い、楽しむことで、ころを新たにワイズメンズ運動を展開するきっかけを作りたい、というのが今回の第18回西日本区大会開催への私の思いであります。みなさま、大阪ベイエリアで“交・響・楽”を奏で、私たちの力をワイズメンズ運動の明日につなげましょう。

ともあれ、みなさまからのこの一年間の温かなご支援・ご協力にころから御礼申し上げます。ありがとうございました。

西日本区理事 松本 武彦





6月の強調月間 評価・計画

今年度の活動目標がどこまで達成できたかを振り返り、達成と未達成の原因を探り、この振り返りの成果を次年度の活動に活かそう。

この一年の活動を、成功のみでなく失敗も含めて丁寧に振り返り、新しい年の計画立てに生かすようにしましょう。

西日本区理事 松本武彦(大阪西クラブ)

今月の聖句

「山が移り、丘が揺らぐこともあろう。しかし、わたしの慈しみはあなたから移らず、わたしの結ぶ平和の契約が揺らぐことはない」とあなたを憐れむ主は言われる。

(イザヤ書 54 章 10 節)

聖句黙想

イザヤという預言者が神の言葉を預かって、国の存亡にかかわる大きな判断について民に語るものです。紀元前 600 年ごろダビデ王国の末裔がバビロニアに亡ぼされ、いわゆるバビロン捕囚として半世紀を生きた間の事情が反映されています。異教の神に敗れた自分たちの神は正しいのか、民の変化と信仰はどこに行くのか。苦難の中で普遍的な根拠を求める思索が深まりました。支配者がバビロニアからペルシャに代わり希望の兆しも見えました。捕囚からの解放と祖国への帰還を思い描く預言者の、壮大な幻に圧倒されます。苦難を支える神の言葉は民族宗教から世界宗教への視界を開き、やがて救い主イエス・キリストの預言としてキリスト教に引き継がれます。今、人類は世界規模から地球規模の施策を求められる時代になりました。災害と戦いに明け暮れ、嘆きの最中にある地球の民にも希望の言葉として響きます。

西日本区チャプレン 江見 淑子

◇ 第 18 回東日本区大会 ◇



開 催 2015 年 6 月 6 日～7 日
 会 場 厚木市文化会館・レンブラントホテル厚木
 ホストクラブ 厚木クラブ
 協力クラブ 東京クラブ 東京まちだクラブ 東京コスモスクラブ
 横浜とつかクラブ
 協 働 厚木 YMCA
 共 催 厚木市・厚木市教育委員会

詳細はホームページ <http://atsugiys-conv18th.jimdo.com/> をご覧ください。

★ 第 18 回西日本区大会実行委員会からのお願い

- ◇ 第 18 回西日本区大会において「バナーセレモニー」を行いますので、各部長、クラブ会長は「部旗、クラブバナー」を忘れずにご持参下さい。また、部旗、クラブバナーは各自で管理して下さるように宜しくお願いいたします。
- ◇ 登録確認書が送られていると思いますが、内容の再確認をお願いいたします。



第 18 回西日本区大会の申し込みはお蔭様をもちまして目標を達成いたしました。実行委員会としましては、楽しく、より良い大会を準備しています。大会当日皆様とお会いできることを楽しみにしています。

理事事務局からのお願い

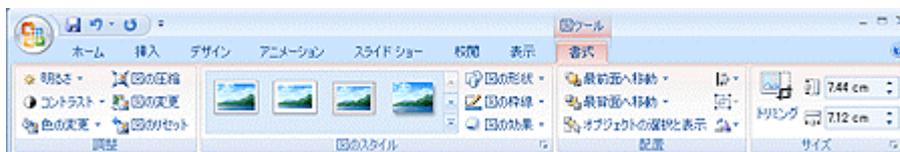
この一年間の皆様のご協力に感謝いたします。郵送や F A X でデータを取り替えていた頃から考えますと、近年はインターネットを通じてデータのやり取りを行って凄く便利でスピーディになってきました。ワード、エクセル、PDF は日常普通に使っている今日この頃です。

- ◇ PDF は報告書や説明書等の資料では有効に使えますが、登録申込みやアンケートなど記入を要する場合には不向きとなります。PDF に文字を記入するにはそれなりのソフトウェアが必要となりますので、記入を要する文書の場合は PDF にせずにワード文書で送っていただきますと皆様が活用しやすくなりますので、ご配慮を宜しくお願いいたします。
- ◇ 近頃はデジタルカメラの性能が向上し美しい写真が簡単に撮れるようになりましたが、データの容量が大きく、そのまま文書に貼り付けますとメールでは送れないことがあります。この場合、写真(画像)を圧縮し容量を小さくしますとメールで送れるようになります場合があります。

・図のファイル サイズ縮小の概要

図で使用されている色の数によっては、イメージの色の書式を減らして(圧縮)ファイルのサイズを縮小できます。図を圧縮すると、色の表現に使用するピクセルあたりのビット数が減りますが、品質は低下しません。

1. 圧縮する図をクリックします。
2. [図ツール] の [書式] タブの [調整] で [図の圧縮] をクリックします。



3. 選択した図のみを圧縮し、ドキュメント内の他の図は圧縮しない場合、[選択した画像のみに適用] チェック ボックスをオンにします。
4. [オプション] をクリックし、[圧縮オプション] の [保存時に基本的な圧縮を自動的に行う] チェック ボックスをオンにします。

注 [保存時に基本的な圧縮を自動的に行う] オプションは、現在のプログラムで開いているドキュメントに対してのみ適用されます。これ以外の [圧縮の設定] ダイアログ ボックスのオプションは、Office Excel 2007、Office PowerPoint 2007、Office Word 2007、および Office Outlook 2007 のすべてのドキュメントに適用されます。

《参照: <https://support.office.com/ja-jp/article/>》

理事事務局長 石津雅人 (大阪センテナリアルクラブ) E-mail : osaka@m-ishizu.com